

森のコンポスト/高知 ベランダ型 組み立て方&使い方マニュアル



森のコンポスト/高知を、あなたの家に迎えてくださって
ありがとうございます！
これからご使用までに、塗装したり、組み立てたり、土を
いれたり、いくつかの作業があります。
大変そうに見えますが、やってみると意外に簡単。
作っているうちにだんだん愛着がわいてきて、
あなたの家ならではの森のコンポストになっていきます。

好きな色に塗ったり、絵を描いたりなど、楽しみながら完
成させて、コンポストのある暮らしを始めてください。

STEP 1 塗装しましょう

【用意するもの】

塗料：屋外用水性木材保護塗料（防腐・防虫・防カビ効果のあるもの）

水性塗料は、塗りやすく、臭いがほとんどないので扱いやすいです。
ホームセンターに行くといろいろな種類のものがあります。
もし、迷ってしまったら…

＊水性クレオトップ（吉田製油所）～比較的安価

＊水性キシラデコールエクステリア（大阪ガスケミカル）～カラー豊富
などがお勧め。

キエーロ1個の表面積3～4平米が塗れる量の缶を選びましょう。
（塗料によって違いますが、だいたい0.7ℓ缶で塗れます。）

<ポイント>

★水性塗料は木に浸透して被膜を作らず、剥がれ落ちる心配がありません。

★色が透明（クリア）なタイプは、塗装後もほとんど塗装前と見た目が
変わらないため、塗りむらが見えず、とても簡単に塗れます。
「塗装が初めて」という方におすすめです。

道具：刷毛かローラー

手袋

塗料をいれる容器（ヨーグルトや豆腐の空き容器でOK）

下に敷くもの（シート、ビニール、新聞紙など）

①木のパーツを並べ、1回目の塗装をする。

②塗料缶の説明にある乾燥時間を置く。

③2回目の塗装をして、乾かすとできあがり。

※塗料によっては一度塗りでOKなものもあります。

STEP 2 組み立てましょう

用意するもの：電動ドライバー

同梱のビス

長いビス 8本

前面固定用

頭が丸いビス 8本

ポリカ板留め用

短いビス 26本

側面固定&ふたの丁番用

① 前面・右側面・左側面を並べる。

* 前面は大きなパーツのうち、背が低い方です。

* 側面2枚は左右同じ形です。

出っ張った部分が太いほうを下にしてください。



②側面をたて、前面に短いビスで留める。

*各面の下穴5か所に留めていきます。



*両側面とも留めます。



③両側面を止めたら、上に背面をのせて、左右5か所ずつ短いビスで止める。



④ふたにポリカーボネート板をつける。



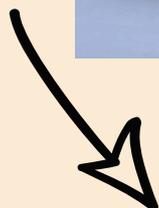
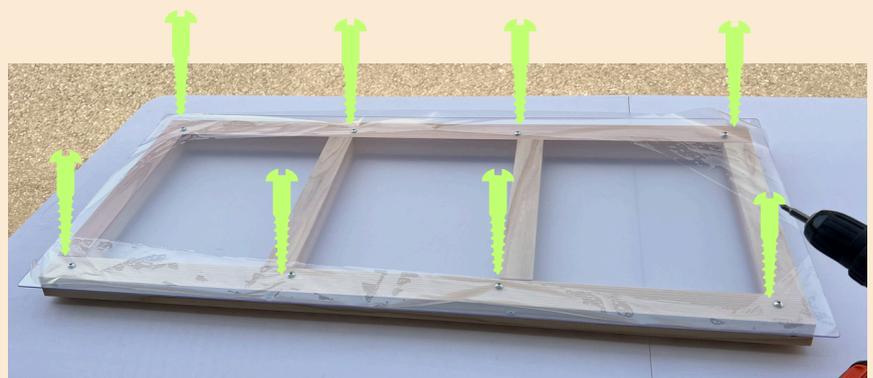
*ふたにポリカーボネート板をのせる。下穴の位置をあわせて置きましょう。



保護フィルムが貼ってあるほうが上です。



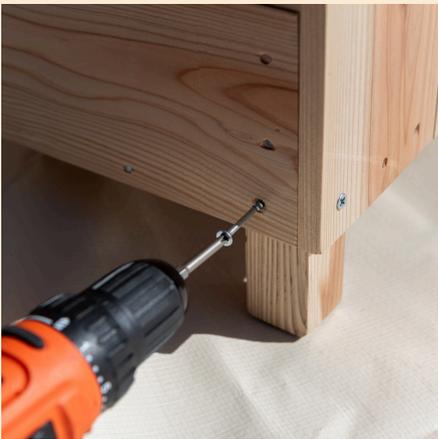
*保護フィルムを剥がしながら、頭が丸いビスで8か所留めます。



⑤ふたをのせて、2か所の丁番を短いビスで留める。



⑥前面と背面を長いビスで固定する。



※前面4か所
背面4か所あります。

⑥底板を上からいれて、
出来上がりです！
(下の枠の上に置くだけです。)



*底板には、水抜きの際間があげてあります。
土を入れる前に、同梱のネットを敷いてください。
その上に新聞紙などの紙を置くと土が入れやすくなります。



<中にいれる土>

園芸用の「黒土」をいれてください。（ホームセンターや通販で購入できます。）

量は120～150ℓ程度です。

※黒土の代わりに植木剪定材で作った堆肥（臭いません）でも、うまく行きます。

自治体等で無料提供もしくは安く販売しているところもあるので、探してみてください。

★あおり止め（セットに同梱しています）



高台や屋上などに置いている場合、風が非常に強い日は、ふたがあおられてバタバタすることがあります。そこで「あおり止め」用の金具を同梱しておりますので、必要に応じて取り付けてください。下の画像を参考に、ふたの枠の下側と本体に、キリで下穴をあけていただき、手でねじ込んでつけてください。



STEP 3 使ってみましょう

森のコンポスト/高知は、「キエーロ」という種類のコンポストです。
キエーロの使い方は簡単！ ぜひ、楽しみながら生ごみを分解してみてください。

①土をいくつかの区画にわけ、順番に使う。



②一区画に穴を掘り、生ごみを投入。



③生ごみと土をよく混ぜる



④生ごみが見えなくなるまで
しっかり土をかぶせる。



<ポイント>

★キエーロで一番大事なことは、「土の表面に乾いた土がかぶさっていて生ごみが見えない状態」をキープすることです。一巡して戻ってきた時は、穴を掘る前に、まず表面の乾いた土を横によけてとっておき、最後にその土をかぶせるようにします。コツはこれだけと言っていいくらい、簡単です。

使い続けるうちに、卵の殻や玉ねぎの外皮など、分解しにくく乾燥した状態のものが土に混ざってきますが、それは土の一部とみなして大丈夫。

湿った状態の生ごみが表面に見えてなければOKです！